

伊予鉄グループ／道路運送高度化実施計画

■ 伊予鉄バス・伊予鉄タクシー等が、下記サービスを導入するにあたり、道路運送高度化実施計画を策定。

(1) EVバスの導入、(2) キャッシュレス決済アプリ（みきゃんアプリ）の導入

事業主体（計画主体） 伊予鉄バス、伊予鉄タクシー、デジタルテクノロジー四国

取組の内容

(1) EVバスの導入

① 導入規模

- EVバス 10両／年（今後5年間で計50両導入予定）
EVモーターズ・ジャパン製

② 導入箇所

- 6路線（川内線、空港リムジンバス等）
3営業所（松山室町営業所等）
※充電施設はバスターミナルにも設置の予定

③ 税制特例減税見込額（R5年度）

- 償却資産：547千円 ■ 土地：99千円（計646千円）



(2) みきゃんアプリの導入

① キャッシュレス決済の導入

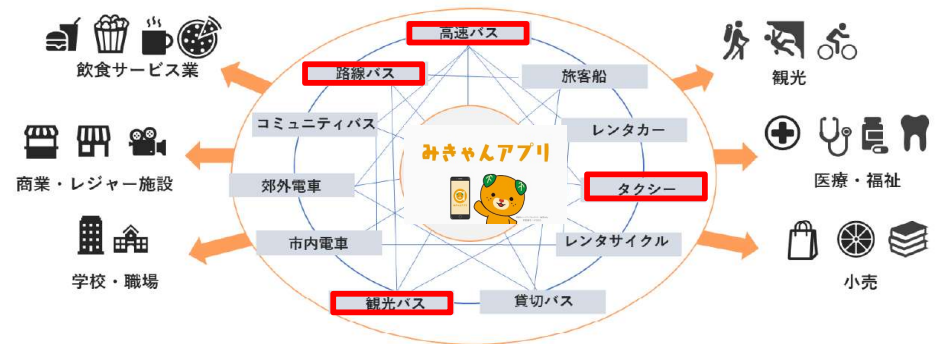
- デジタルチケット、MPM方式（QRコード決済）等の導入

② マイナンバーカードと連携した運賃割引

- 居住地や年齢に応じた運賃割引の実施

③ デジタルクーポンを利用した運賃割引

- 観光施設等と連携したデジタルクーポンによる運賃割引の実施



事業の効果

【EVバス】車内における静穏の確保による利用者利便の向上、省エネ性能の向上による運行経費削減
【みきゃんアプリ】運賃支払時間の短縮

計画実施時期（予定）

2023年10月～2024年9月（2023年度末までに見直し予定）

対象区域

【EVバス】愛媛県松山市、東温市 【みきゃんアプリ】愛媛県松山市、東温市、伊予市、松前町、砥部町

事業費（5年度）

【EVバス】566百万円 【みきゃんアプリ】230百万円